

SJクイズ

[問題編]

Q1

2023年の自転車関連事故（第1・第2当事者※）件数は7万2339件でしたが、全交通事故件数に占める割合は約何%でしょう？

- ①約14% ②約24% ③約34%

※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽い、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。

Q2

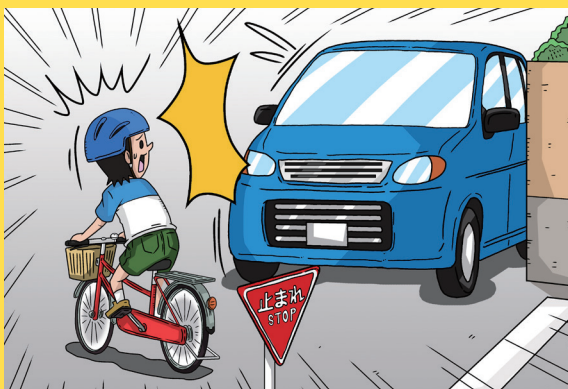
2023年の自転車乗用中の交通事故死者数（346人）を損傷主部位別にみると、最も多いのは頭部ですが、その割合は約何%でしょう？

- ①約40% ②約50% ③約60%

Q3

小学生の自転車乗用中の交通事故死者・重傷者数（2018～2022年の合計）を月別にみると、死者・重傷者数が最も多いのは何月でしょう？

- ①4月 ②5月 ③6月



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

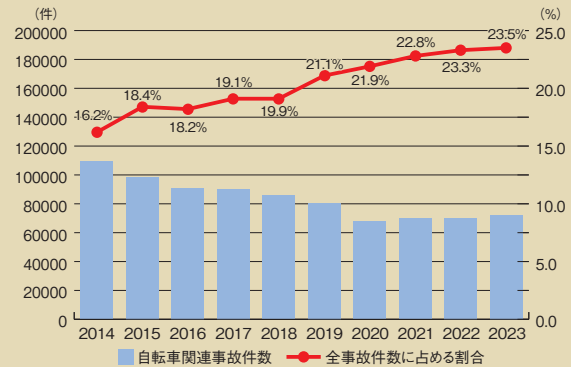
Q 1 解答 ②約24%

<解説>

2023年の自転車関連事故（第1・第2当事者）件数は全事故件数の23.5%を占めている。また、状態別の交通事故死者・重傷者数では、自転車乗用中（7,061人）は二輪車乗車中（7,138人）と変わらない。

近年、自転車事故件数は減少傾向だが、全事故件数に占める割合は増加傾向となっている。自転車は誰でも気軽に乗れる便利な乗り物だが、交通ルールを理解した上で正しく利用しないと事故につながる恐れがある。事故の被害者や加害者にならないよう、自転車利用者は「自転車は車両である」という自覚を持ち、交通ルールを遵守してほしい。

●自転車関連事故件数と全事故件数に占める割合の推移（2014～2023年）



出典：警察庁資料

Q 2 解答 ②約50%

<解説>

2023年の自転車乗用中の交通事故死者数を損傷主部位別にみると、頭部が50.3%を占め最も多く、次いで胸部（13.6%）となっている。

ヘルメット着用状況別の致死率（死傷者のうち死者の占める割合）を比較すると、ヘルメット非着用時は着用時に比べ約2.6倍（2022年）となっていることから、ヘルメットの着用によって頭部への被害軽減が期待できる。2023年4月から、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されているが、交通ルールだから着用するのではなく、自分の身を守るために着用してほしい。そして、頭のサイズに合ったものを使い、あごひもは指が1～2本入る程度に締めるなど正しく着用することが重要である。

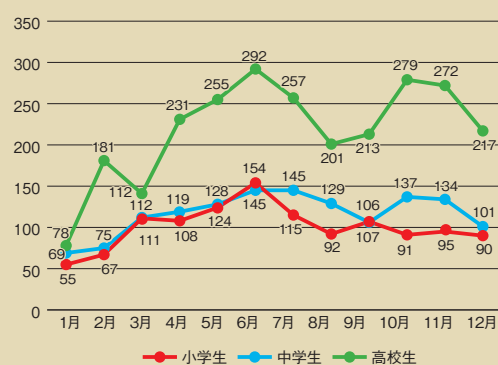
Q 3 解答 ③6月

<解説>

小学生の自転車乗用中の交通事故死者・重傷者数（2018～2022年の合計）を月別にみると、死者・重傷者数が最も多いのは6月。これは、中学生と高校生においても同じである。

6月は多くの児童・生徒にとって新学年での生活に慣れ、気が緩む時期でもある。小学生の保護者は、こどもと一緒に改めて交通ルールを確認するだけでなく、具体的に注意点や安全な横断手順などを教えて習慣化させることが大切である。家庭でも継続的に交通安全教育に取り組んでほしい。

●児童・生徒の月別自転車乗用中死者・重傷者数の推移（2018年～2022年合計）



出典：警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736